

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 昭和62年～		根拠法令・例規等	下水道法、水質汚濁防止法	
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問	担当課(室)	下水道課
	中項目 基本施策	01	生活しやすいまちづくり	合	職・氏名	参事・初治慎一
	小項目 施策	10	下水道	先	電話	0869-63-2330
事務事業名		05	公共下水道施設管理事業	このシート作成に要した時間		4.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	下水道使用者及び片上・吉永地区の雨水対象者	
目的 (何のために)	公共用水域の水質保全のために、流入下水を浄化し放流する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の実績		事業の説明	優先度
細事業名			
目的を達成するため実施した事業	浄化センター外管理事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎
		汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理	○
		雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理(片上・吉永)	○
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○
		事業場から排水される汚水の水質調査及び指導	△
管渠施設管理事業	認可変更委託業務(施設長寿命化対策事業)	下水道管渠等の健全な管理のため、管渠やマンホールポンプの点検・清掃を行い、安全な通行を確保するため、マンホール周辺の路面修繕を行った。	○
		日生・吉永浄化センターにおいて長寿命化対策事業として、土木・建築・機械・電気設備の耐震診断等の結果に基づき、基本計画の策定を行った。	○

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	350,152	393,626	380,202
	必要人員費	千円	2,96人 21,532	3,25人 30,513	3,12人 28,928
	事業費計	千円	371,684	424,139	409,130
決算額	国庫支出金	千円		18,200	9,750
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
一般財源			371,684	405,939	399,380
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	汚水処理量	説明	汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量		
	結果指標量	m	3,704,348	3,825,033	3,699,578
	対前年比	%	-	103.3%	96.7%
	活動コスト	円	371,683,864	424,139,254	409,129,696
単位当たりコスト			100	111	111

事業の成果		平成24年度事業				
COD値	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
	目標値(A)		15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値(B)		8.3	8.4	8.4	到達目標値
達成率(B/A)			55.33%	56.00%	56.00%	15mg/l以下
成果指標設定の考え方・式や説明						
COD(化学的酸素要求量)は、海域と湖沼の排水基準に用いられ、水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量を示す。実績値の値が大きいほど汚れが大きく、目標値以下でなければならない。(目標値>達成値、達成値=目標値÷実績値は100%以上でなければならない。)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 高 低 B	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 高 低 C	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 高 低 B		

進行年度(H25年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	経年により老朽化が進んでいる施設(日生浄化センター)は、長寿命化対策事業として基本計画に基づき改築工事の実施設計を実施する。維持管理業務は、効率的、経済的な施設の点検整備を進める。														

総合評価		総合評価
処理コスト(電気料金、薬剤費用、汚泥処理費)を抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。		
		A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 高 低 B

平成26年度の方向性・取組目標		Action																			
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○											
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了															
	○																				
取組目標	長寿命化計画を基に施設改築や点検整備による効率的・経済的な施設管理を実施していく。																				

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら